

北海道教育科学研究会 第 145 回研究会

テーマ：変貌する自主夜間中学

- 日 時：2026 年 11 月 21 日（土）10：00～12：00（頃）
- 報告者：横関 理恵さん（旭川市立大学准教授）
- 参加形態：zoom



＜本研究会の趣旨＞

「教育機会確保法」が成立して 10 年。義務教育段階における多様な「学びの保障」という考え方は、確実に広がっています。

学びを求めながらも学ぶ場をもたない人びとを支える場として、自主夜間中学は各地で展開されてきました。こうした自主夜間中学は、学習機会の提供にとどまらず、公立夜間中学の設置や学び

の保障のあり方にも大きな影響を与えてきました。

そこで今回は、自主夜間中学の役割を、これまでの歴史的展開、教育機会確保法成立後の夜間中学施策の展開、そして今日における実践の展開という視点から考察します。札幌の「遠友塾自主夜間中学」などを事例として取り上げながら、『教育』（2026 年 9 月号）の内容をさらに深めます。

- 申込：参加可能な方は、グーグルフォーム（QR コードか URL）に、入力をお願いします。締め切りは、11 月 19 日（木）23:59 です。

11 月 20 日（金）頃に、zoom の接続先を電子メールでお知らせします。

【URL】 <https://forms.gle/2hXHChA1oziSPAdC8>



★「教育科学研究会」（略称・教科研）は、教育の現場（学校や園、家庭や地域）で起こっている現実を見すえながら、子どもの未来と教育のあり方について、教職員、保護者、指導者、学生、研究者などが共に考えあい、実践・研究しあう団体です。 <https://kyoukaken.jp/>

月刊誌『教育』（旬報社）や、年次大会等の研究会など、全国で多彩な活動が行われています。

北海道教育科学研究会

事務局：徳長 誠一（道立高校教員、教科研全国委員）井上 大樹（札幌学院大学、教科研副委員長）

北海道教育科学研究会 電子メールアドレス hokkaidokyokaken@gmail.com